

な装置で、よりリアルに原爆の恐ろしさや悲惨さ、後世に与えた影響が、多くの人に知らされるのはよいことだと思います。

近年、地域紛争やテロが世界各地で起きています。来館者から「怖くて見たくない」「実際の被害はこの程度ではない」という意見が寄せられたということですが、私は、このような投影装置などがあることで今後、二度と戦争を起こしてはならないというメッセージが日本だけでなく、世界に広がってほしいです。

原爆の悲惨さ 後世に

むらまつ たろう
村松 太郎さん(和泉中1年)



日本は世界で唯一、原爆が投下された国です。その原爆が投下された直後の様子をCGで再現する「ホワイトパノラマ」が広島原爆資料館に設置されました。投影装置では原爆により、街が一瞬にして破壊される様子が映し出されるということです。

核兵器の悲惨さは、日本にしか伝えることができないものが多くあります。このよう

改修の原爆資料館
CGで投下を再現
広島きょうおう
広島市中区の原爆資料館の
東館が26日にリニューアル
オープンするのを前に、原爆投
下前後の街の様子を再現する
CG映像の投影装置「ホワイ
トパノラマ」などが新設され
た内部が25日、報道陣に公開
された。
装置では、街が一瞬にして
破壊される様子が分かるよ
う、直径5.5mの街の白い機型
に約1分30秒のCG映像を投
影。被爆前に軍部として栄え
た広島や、米軍の原爆開発、
被爆者の多くが語った広島
原爆資料館の集結リニュー
ルオープンを前に、報道陣に
公開された広島の市街地への
原爆投下を再現するCG映像
の展示。25日、広島市



マイ
ト
ッ
プ
ニ
ュ
ー
ス